

平成29年度第2回東北農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:平成29年11月1日)

開催日及び場所		平成29年9月26日(火) 仙台合同庁舎A棟7階東北農政局会議室		
委員		大泉 裕一(公認会計士・税理士) 杉山 茂雅(弁護士) 宮坂 一平(ジャーナリスト) 村上 敏郎(弁護士)		
審議対象期間		平成29年4月1日～平成29年6月30日		
審議対象案件		267件 うち、1者応札案件 58件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
抽出案件		7件 うち、1者応札案件 2件 (抽出率2.6%) (抽出率3.4%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件内訳	工事	一般競争	3件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			工事希望型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			随意契約	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	測量・建設コンサルタント等業務	一般競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型競争	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			随意契約	公募型プロポーザル
		簡易公募型プロポーザル		2件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		標準型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		その他の随意契約		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	物品役務等	一般競争	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		随意契約(企画競争・公募)	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		随意契約(その他)	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項) なし。			
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)
			別紙のとおり。	別紙のとおり。

委員会による意見の具申又は勧告の内容[これらに対し部局長が講じた措置]

なし。

事務局： 東北農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

別 紙

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答等
< 工事編 >	
(仙台東災害復旧関連区画整理事業 暗渠排水第一期建設工事)	
非開削工法の機械の価格はいくらか。	1 台約 3 千万である。
宮城県内でその機械を 4 者しか持っていないと言うことだが、A 者は他の 3 者が持っていることを知っているのか。	おそらく把握していると思う。
工事の特殊性を考えると、4 者しか機械を持っていない場合、談合とか起きやすいのではないのか。	入札に参加している者については、非公表である。また、機械を購入することにより、誰でも入札に参加することは可能であり、談合は考えにくい。
今回は、1 者しか入札に参加していないが、4 者が入札に参加する可能性があったのか。	可能性はあった。
県発注工事が 6 件あり、その影響もあり応札者が少なかったのではないのかという説明だったが、事実関係は把握していたのか。	今回抽出案件になり、宮城県に確認してはじめて知り得た情報であり、応札者が少ない要因の一つかもしれないという説明である。
業者は、県・国の発注情報を事前に知ることができるのか。	国は、事前に入札情報を公表しているので、業者は知ることができる。県も同様に公表していると思われ、情報はつかんでいると思う。
特殊工事ならば国と県とで、発注情報の共有とか意見交換する事はないのか。	必要性がないため、情報交換はしていない。
(田沢二期農業水利事業)	

<p>第二田沢幹線用水路（その34）工事）</p>	
<p>4 mの管を25本トンネルに入れる工事であるが、工事費が高いように思うが。</p>	<p>1.6 m口径の管で、1本の値段が91万である。工事費としては、管を設置する費用とトンネルと管の間をモルタル充填する費用を計上している。</p>
<p>参加者が8者で、4者が辞退しているが何故か。</p>	<p>確認はとっていないが、他工事を受注したことにより、配置予定技術者が重複するため、辞退したと思われる。</p>
<p>配置予定技術者の差し替えはできるのか。</p>	<p>できない。 複数の配置予定技術者を登録することはできるが、登録した技術者の中で、持ち点の一番低い方を評価し評価点とするため、高い持ち点を有する一人を登録する傾向にある。</p>

<p>（赤川二期農業水利事業 東3号幹線用水路押切新田地区補修工事）</p>	
<p>応札者が多数いるのは、何か理由があるのか。</p>	<p>年度の早い時期に発注しているため、業者の手持ち工事が少ない時期であったことも参加理由の一つだと思う。また、以前から赤川地区で類似工事を発注しており、地元業者は安心して参加できる工事でもある。 本年度の当初予算については、業者が参加しやすい上半期の工事発注を目標とし、実際に9月末まででほぼすべての工事を発注することができた。</p>
<p>田沢二期の工事と、入札日が1日しか変わらないのに、応札者数に大きな差があるのは何故か。</p>	<p>現場条件が大きく違うためである。 赤川地区は交通の便が良い平野部で、開水路の補修工事であるが、田沢二期地区は山間部のトンネル工事、降雪等条件が厳しい現場のため、応札者が少ないのではないかと。</p>
<p><測量・建設コンサルタント等業務編></p>	

<p>(仙台東災害復旧関連区画整理事業 高砂換地区地区界用地測量(その4)業務)</p>	
<p>この業務は、参加しやすい理由があるのか。</p>	<p>定型的な測量業務であり、東北管内における過去3年間の平均でも9者以上の参加者があった。</p>
<p>(会津北部農業水利事業 八方頭首工調査測量設業務) (平川二期農業水利事業 早瀬野ダム付帯施設補足設計業務)</p>	
<p>2つの業務に共通することだが、設計業務なのに、河川管理者との協議等が必要という事だが、詳しく説明してほしい。</p>	<p>設計の段階から河川管理者との協議調整を行う必要があるため、仮設計画や河川締切り時期等の行程表を本設計業務において検討している。</p>
<p>< 物品・役務編 ></p>	
<p>(平成29年度荷物運送業務)</p>	
<p>入札金額が3者とも大幅に違うのは何故か。</p>	<p>企業努力の差だと思われる。</p>
<p>落札率が100%の理由を教えてください。</p>	<p>予定価格を積算する際に、入札参加者から参考見積書を提出してもらい、最低価格を積算価格としている。 そのため、参考見積で最低価格を提出した者が同額で入札した場合、落札率が100%になることがあり、今回もそのケースである。</p>
<p>他の2者は、自らが提出した参考見積書と同額だったのか。</p>	<p>2者とも参考見積書より低額で入札している。</p>
<p>予定価格は、いつも参考見積で積算し</p>	<p>案件にもよるが、一般的に物価資料等</p>

<p>ているのか。</p>	<p>を根拠に積算できれば、そちらを使う。今回の場合は根拠となるデータが無い ため、実勢価格を参考に取り、予定価格とした。</p>
<p>東北農政局としての貨物運送業務は、これですべてか。</p>	<p>すべてである。</p>